

市街地のみどりで観察

ここでは、大阪府内の代表的な市街地のみどりとして、大阪城公園、万博記念公園を紹介します。これらの場所は、まったくの自然ではありませんが、樹木は大きく育っています。また、交通が便利なこともあって、手軽に観察に行けるのが大きなメリットです。

Point1 大阪城公園で鳥を観る

大阪城公園は、大阪市内では最も大きなみどりのある場所です。

鳥たちのなかには、季節により渡りをするもの(渡り鳥とよびます)が多くいますが、遠く南の地域から日本に渡ってきて夏に繁殖する鳥(夏鳥とよびます)と冬を越すため北の地域から日本に渡ってくる鳥(冬鳥とよびます)に大きく分けられています。大阪城公園は、多くの渡り鳥が渡りの途中に一時的に休息をする場所として有名です。

春の渡りは4月下旬から5月上旬のゴールデンウィークの頃、秋の渡りは9月から10月にかけてです。長い距離を飛び続けてきた鳥たちは、疲れているでしょう。街の中にありながら、みどり豊かな大阪城公園の景色は、旅の途中で休みたくなる最適な場所にみえるようです。渡りの時期には、普段は平地ではみることのできない高山にすむ鳥や珍しい種類の鳥が多くみられます。しかも、林の中は見通しがきくように管理されているおかげで、大変観察しやすいのもこの特徴です。



188. サンコウチョウ



189. バードウォッチング